

小学生ソフトバレーボール大会競技ルール（改定）

鹿児島市バレーボールスポーツ少年団連絡協議会独自の規則にて行います。

よくある質問への回答と付則

適用区分	適用項目	ルール内容
施設・用具	ネット	4年生以下180cm
	ボール	ビニール製・円周78cm・重さ100g
試合進行	競技者	ユニフォームは一目で同チームとわかるものであること 競技者交代については6人制競技規則に準じて行う。
	試合の勝敗	①2セットマッチとし、2セット取得のチーム、又は1セットずつ取得の場合は総得点が多いチームの勝ちとする。（総得点と同じ場合は引き分け） ②一つのセットは、先に15点取ったチームがセットの勝者。 ③14対14の同点になった場合は、2点リードに達するまで続けられる。 ただし、17点で試合は打ち切られる。
	成績	「勝率」→「セット率」→「ポイント率」の順に決める。
	サービス	ジャンプしてのサーブは禁止とする。 4年生以下は、ショートサービスゾーンから行うことができる。
	セット間	概ね1分程度とし、両チームの準備が整い次第速やかに始める。
	試合間	2分とする。
	審判	①主審1人・副審1人・点示員1人・記録員1人・線審2人の計6人を基本とする。（参考資料 図1） 線審は4人で行っても可とする。 ②主審は、指導者又は保護者・育成会等が行うのを基本とする。
	サービスの失敗	相手が触れるまでにボールがネットや支柱などに当たってはいけない。
	ネットへの接触	ネット上部の白帯に限らず、ネット全面に触れてはいけない。
	支柱、アンテナへのボール接触	ボールが支柱のみに触れた時、サービスされたボールを除きプレーを続けることができる。 ボールがアンテナのみに触れた時はすべてボールアウトとなる。 （参考資料 図2）
プレー上の反則	競技者の相手コートへの接触	競技者はセンターラインを完全に超えて、相手コートに触れてはいけない。（参考資料 図3）
	アタック・ヒットの反則ブロックの反則	サービスされたボールを、ネット上端より高い位置から相手コートに打ち返したり、ブロックしてはいけない。
	オーバーネット	相手コート上でボールに触れてはいけない。（参考資料 図4）

参考資料

図1

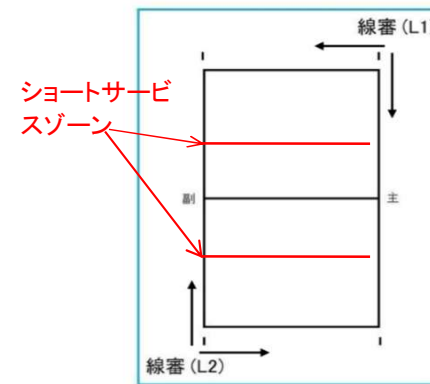


図2

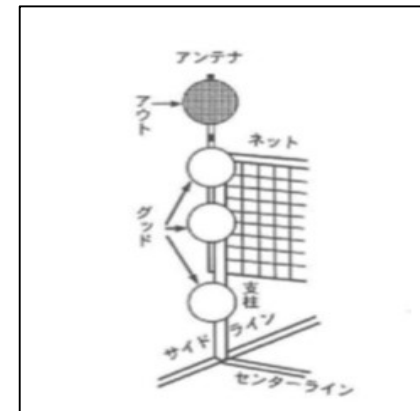


図3

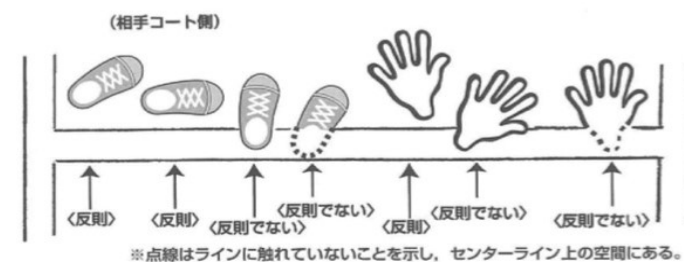


図4

